

れいわ ねん がつ にち
令和6年9月2日

スクールソーシャルワーカーだより



つうしん にじいろ通信



えすえぬえす だれ きず
SNSで誰かを傷つけないために…

みなさんは、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を利用していますか？

「将来の夢はYouTuber！」という小・中学生も多く、YouTubeやTikTok、Instagram、LINE等のSNSは生活の中に溶け込んでいて、利用したことがないという人は少ないのではないのでしょうか。

SNSは手軽に動画や写真、メッセージの交換ができて、遠くに住んでいる人とつながることができる等の良い面もあります。でも、言葉の選び方や使い方を間違えると、誰かの心を傷つけてしまいます。

夏休み中に、お笑いタレントのSNSトラブルが話題になりましたね。その人は、相手を傷つけるつもりはなくて、「笑いを取りたかっただけ」なのかもしれないし、「面と向かって言うわけじゃないから大丈夫」と気軽に考えていたのかもしれませんが、『死んでくださーい』という、使ってはいけない言葉を使ってSNSを発信してしまいました。SNSは、一瞬で多くの人に情報が伝わります。ですから、「傷つけるような投稿をしてしまった！」と思って後から削除をしても、発信した言葉や発信した事実を取り消すことは難しくなってしまいます。これをデジタルタトゥーといい、SNSの運営会社も、特定の誰かを傷つける投稿を禁止しています。

うらめん
(裏面につづく)

では、不特定多数の人が見ることができない、LINE等のメッセージアプリのグループトークでは、どんな注意が必要でしょうか？

特定のメンバーだけで会話を楽しむことができるグループトークですが、1人だけ発言を無視する、グループから外す、新しいグループを作って仲間はずれにする等、誰かが嫌な思いをして「いじめられている」と感じたら、それは「いじめ」になります。学校等で無視や仲間外れをすることは、いけない事だと分かっているSNSの中での出来事だと罪悪感が小さくなってしまわないでしょうか。

先に触れたように、SNS自体は世界を広げてくれる便利なツール（道具）です。自分も、つながる相手も、心地よくSNSを利用していきたいですね！👍

(書いた人 志摩 育子)



～お気軽にお問い合わせ・ご相談ください～

本宮市教育委員会 幼保学校課 (本庁2階)

電話：0243-24-5445 (内線1246)

E-mail：ssw@city.motomiya.lg.jp

スクールソーシャルワーカー (大久保・志摩)

